



かみ

ぎゅうにゅう

牛乳パックでリサイクル紙づくり

紙の多くは木からつくられていますが、木をたくさん切って森の面積が減ると、地球の環境が大きく変わってしまいます。紙は、いろいろなものからつくることができるし、また、何度も再生することができます。みんながいつも飲んでいる牛乳のパックは、上質のパルプを使っているので、とても良い紙を再生することができます。

牛乳パックでハガキをつくり、友達や家族に手紙を送ってみよう。

用意するもの

1リットルの牛乳パック1本、紙すきわく2枚(つくり方は次のページ)、なべ、ミキサー、お玉、バット(または発泡トレイ)、タオル、綿のハンカチ、アイロン、はさみやカッターナイフ

すすめ方

- よく洗った牛乳パック1本を10cm角に切り、なべに水といっしょに入れ、15~20分間にたあと、なべから取り出して、パックにはられている表と裏のフィルムをはがします。お湯でやけどをしないように気をつけよう！！
- やわらかくなった紙を1cmくらいの大きさにちぎって、水をよくしぼります。ミキサーに、しぼった紙と水を入れ(紙5gに対して水1ドロがめやす)、おかゆ状にします。
- バット(または発泡トレイ)の上に紙すきわくを置き、お玉を使っておかゆ状になった紙を、紙すきわくの中に3mmくらいの厚さで平らになるよう流し込みます。
- もう一枚の紙すきわくを上からのせて、押しつけて水をしぼり、さらに、かわいたタオルにはさんで押さえ、水を吸い取ります。
- 少し水が抜けたら、紙すきわくからていねいにはがし、窓ガラスにはり付けて、かわけば紙のできあがりです。早くかわかしたいときは、綿のハンカチなどではさんで、アイロンをかけるといいよ。
- できあがった紙は、ハガキとして、リサイクルをすすめる言葉や絵を書き、友達や家族などに送ってびっくりさせよう。
ハガキは、形や大きさにかかわらず、決められた金額の切手をはれば送ることができるので、郵便局の人聞いてみよう。

☆みんなに送るリサイクルをすすめる言葉を考えてみよう！

<例>

- ごみの山 きちんと分ければ宝もの
- 考えよう そのごみ何かに使えない?
- お買い物 進んで選ぶ再生品
- ペットボトル はがして洗って再利用

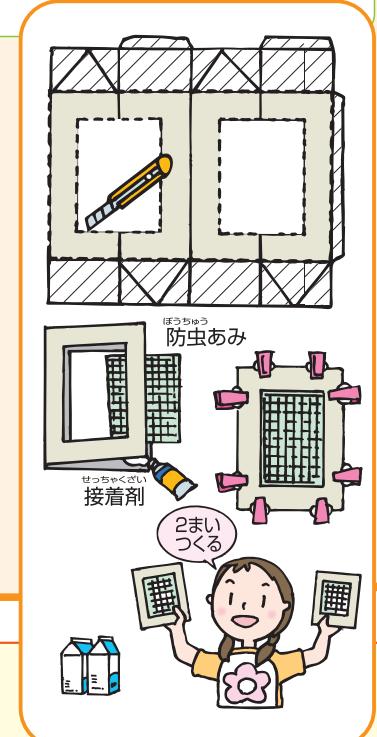


◇紙すきわくのつくり方（1枚分）

用意するもの

1リットルの牛乳パック1本、防虫あみや水きりネットなど、接着剤、
洗たくバサミ8個、カッターナイフ、ハガキ大の型紙(たて約15cm
×よこ約10cm)

- ① 牛乳パックを開いて、底と注ぎ口の部分を切りとったあと半分におり、真ん中に型紙をあてて、カッターナイフでハガキの大きさの穴を開けます。
- ② 防虫あみなどを、たて18cmよこ13cmの大きさに切り、牛乳パックの内側に接着剤をつけて、牛乳パックの穴をふさぐようにあみをはさみます。
- ③ あみをはさんだ牛乳パックの周りを洗たくバサミでとめて固定します。接着剤がかわけば完成です。



☆牛乳パック以外のものでも、紙はつくれるよ!!

紙は、せんい質のものなら、どの紙からでもつくることができるよ。

段ボール紙は、水につけてやわらかくしてから使おう。

シュレッダー紙くずは、なべで10分くらい、にてからはじめよう。

ほかの国や地域では、草を使ったり、象のウンチで紙をつくっているところもあるよ。

<まとめ>

☆家では、牛乳を飲んだとの紙パックはどうしているかな？

☆学校の給食でみんなが飲んだ牛乳の紙パックは、そのあとどうなるのだろう？

☆リサイクル紙づくりのほかに、ノートやチラシなど、ふだん使っている紙を大切にする方法はないかな？